

フレやまぐち!



地元から日本代表を出す!

日本一を目指すビーチサッカーチーム

プラシア山口



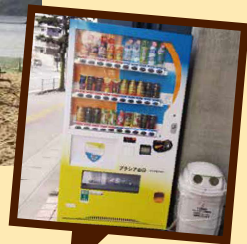
山口県でビーチサッカー全国1位を目指すチームがあります。それがプラシア山口です。プラシアとはポルトガル語のPara Crianca as(子供たちのために)を組み合わせた造語で、サッカーを通して子供たちに夢と希望を与えたいという意味が含まれています。全国3位(2015年)になった実力を備え、日本代表選手も排出したトップチーム、県内では常勝チームとして名高いU15チームに加え、ガールズクラスやエンジョイクラス、スクールなどビーチ以外にもフットサルなどを用意。やりたいレベルに合わせて様々な取り組みを行い、山口県のサッカーを盛り上げています。他に学校で出張サッカー教室を開いたり、富海海岸の清掃活動を行ったり、地域貢献活動も積極的です。また、活動のベースである美しい防府市富海の海岸で毎年春に開催される「SAWATAビーチサッカーゲームズ山口」は一大イベント。今年はコロナ禍で規模を縮小して開催されましたが、毎年多くの人が集まる防府のイベントになりました。育成に定評のあるプラシアだけに、下の世代で経験を積んだ選手たちが、日本のトップを目指して頑張っています。



知っ得ポイント

県内各所にプラシア応援自動販売機

防府市内の町中でみかける青と黄色のプラシアカラーの自動販売機。これは、地元の企業が設置した「プラシア山口応援自動販売機」です。売上の一部は活動資金に使われます。



- | | | |
|--------|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| チームデータ | <input type="checkbox"/> ホームタウン:防府市 | <input type="checkbox"/> 創立:2012年1月1日 |
| | <input type="checkbox"/> 所在地:山口県防府市富海1020 | <input type="checkbox"/> 公式サイト |
| | <input type="checkbox"/> 種別:ビーチサッカー・サッカー | http://pracia.net/ |
| | <input type="checkbox"/> リーグ:ビーチサッカー中国リーグ他 | |

文豪山口

酒と旅を愛した
自由律俳句の代表的俳人

種田山頭火



季語や五・七・五の文字数にとらわれず、自身のリズムで俳句を作る「自由律俳句」の代表者が種田山頭火です。彼の句碑は山口県だけにとどまらず、熊本、愛媛をはじめ全国の至るところにあります。それは彼が漂泊の俳人として全国を旅しながら多くの句を残したことによります。山頭火の生涯は波乱に満ちていました。防府市の大地主の長男として生まれましたが、母の自殺、早稲田大学中退、父の事業失敗、関東大震災での被災など様々な悲劇が彼を襲いました。もともと俳句の才能があり、萩原井泉水に師事し雑誌『層雲』の選者にまでなりましたが、様々な不幸が彼を追い詰め、泥酔して熊本で市電に飛び込むまでに。それから出家したのち、漂泊の俳人尾崎放哉の死の報を受け、自身が行乞(食料を乞いながら辻に立つ修行)の旅に出たのは44歳のときでした。以来、旅に出たり、庵を設けてそこで句会などを開いたりしながら、58歳で亡くなるまで全国で創作活動を続けてきました。生涯酒と旅と句を愛した山頭火の句は、今でも多くの人に愛されています。

写真:旧小林写真館本店 小林銀汀 撮影



山頭火ふるさと館

山口県防府市宮町5番13号
TEL:0835-28-3107
FAX:0835-28-3113

雑学ヤマグチ

生きた牛が当たる! 防府天満宮 牛替神事



牛が当たると言っても牛肉ではなく、生きている本物の牛一頭がもらえます。それが防府天満宮で毎年節分に開催される「牛替神事」です。これは牛が天満宮の神獣となっていることに由来したものです。「牛替券」と呼ばれる交換券を防府市内の協賛店などで手に入れ、この券を2月2日と3日(令和3年度)に天満宮内の交換所で番号券と交換してもらいます。「おくじ上げ」という古式に則った抽選会が開かれ当選番号が決まります。牛が当たっても連れて帰るわけではなく、11月に開催される御神幸祭に神牛役として当たった牛とともに参加します。それまでは農家に預けて育ててもらいます。牛替神事では牛以外にも、金、銀、銅の牛の置物や数千点の景品が当たります。



神聖なるおくじ上げの儀式。